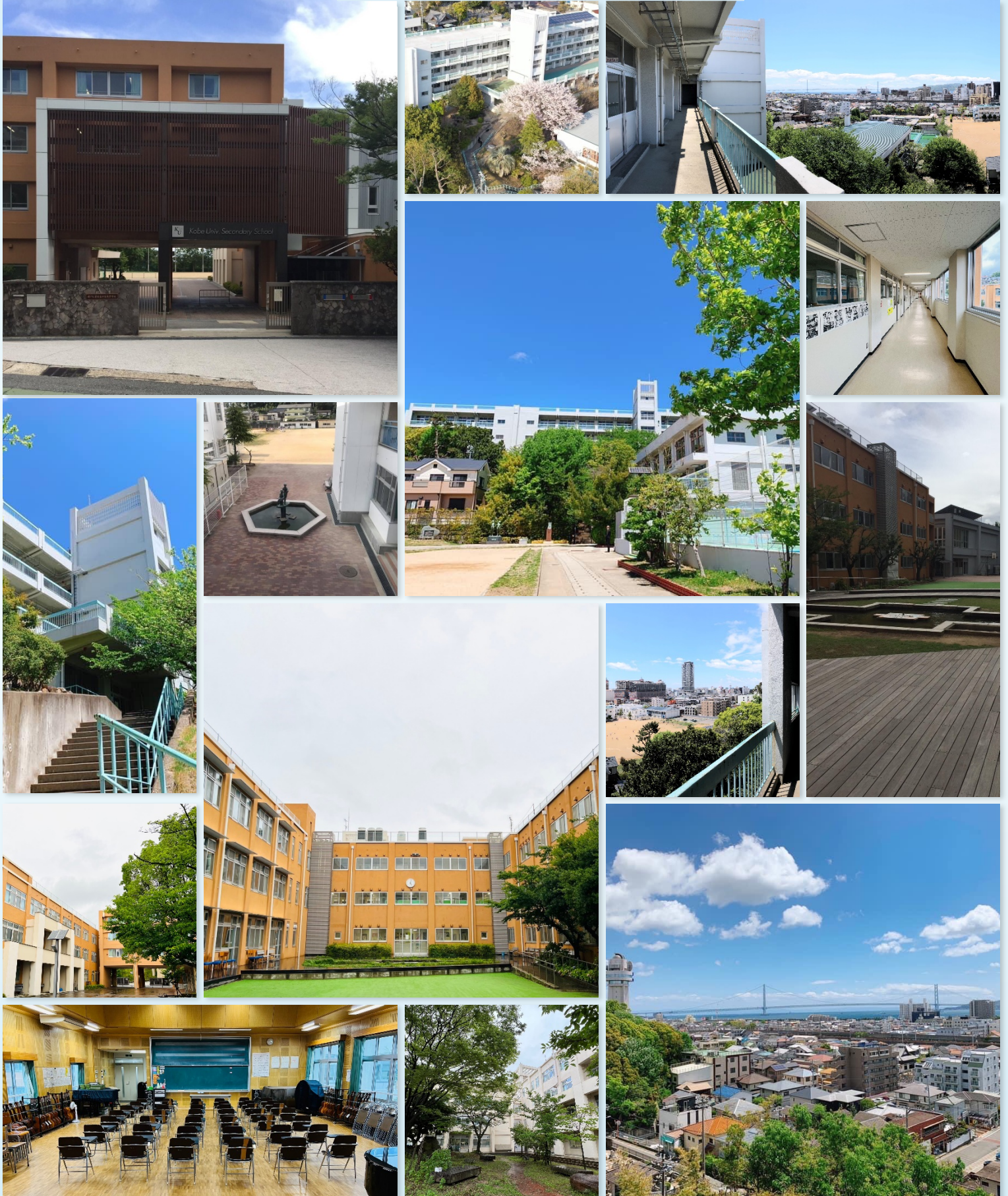


神戸大学附属
学校園同窓会

広報誌

第01号



2023年7月発行

会長 挨拶

小黑 雄介 (中等 1 回生)

この度、神戸大学附属学校園同窓会の会長を拝命いたしました、中等教育学校 1 回生の小黑です。中等教育学校を卒業して 8 年、弱冠 27 歳の未熟者ではございますが、同い年の芦屋市の新市長に刺激をもらいつつ、新たな組織を充実したものにできるよう精進する所存です。

私は 2003 年に附属住吉小学校に入学し、附属の人の温かさと穏やかな雰囲気にとっぷり浸りながら、のびのびと学校生活を過ごしました。2009 年に中等教育学校に進学した際は、附属中学校の 61、62 回生の先輩方の姿に憧れながら、生徒主体の学校文化を体得していったと思います。また、附属学校の再編に伴い従来の明石、住吉の垣根はなくなりましたが、その分両校舎で培われてきた附属の良さがそのまま継承された学校が誕生したと感じています。

附属学校園は明石、住吉の区分がなくなった一方で、同窓会組織は一つに合流することができていなかったため、中等教育学校が卒業生を輩出して以降は同窓会の再編が懸案事項となっております。少し時間がかかってはしまいましたが、この 2 年程の間にユーカー会、住吉校同窓会の先輩方に多大なるご支援をいただき、新同窓会「神戸大学附属学校園同窓会」の発足に至ることができました。住吉出身である私を大いに受け入れていただいたユーカー会の皆様、そして中等教育学校の卒業生のことを理解し信頼していただいた住吉校同窓会の皆様に心から敬意と感謝を伝えたく存じます。本当にありがとうございました。

今回の発足を受け、新同窓会は一つ屋根の下、「会員相互の交流を深め、母校の発展に寄与すること」を目的に据えて活動を展開していきます。

これまでは卒業生のコミュニティは両校舎で別々に形成されていましたが、今後は附属学校園全体で関わり合える場にしたいと考えています。特に附属中学校は共に 1947 年に創立されており、62 回卒業生を送り出したという点は全く同じであるため、ゆくゆくは合同の創立記念同窓会が開催できればと良いなと構想しています。

また、中等教育学校は 2015 年にスーパーグローバルハイスクール、2020 年にスーパーサイエンスハイスクールの指定を受けるなど、従前の附属学校園の豊かな人材育成に更なる拍車がかかっています。そのような教育活動の一助となるべく、また在校生が楽しく学生生活を送れるよう、できる限りの支援をできればと考えています。

これらのことを念頭に置きつつ、卒業生の心の拠り所になることを目して同窓会活動を拡充して参ります。皆様の持つ「附属愛」を受け止めるべく精一杯尽力いたしますので、ご理解、ご協力を賜れますと幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



学校長 挨拶

井上 真理 先生

神戸大学附属学校園同窓会の設立、誠におめでとうございます。

神戸大学附属学校園は、1877（明治 10）年創立の神戸師範学校附属小学校、1904（明治 37）年創立の兵庫県明石女子師範学校附属小学校及び附属幼稚園が淵源です。

本校は、2009（平成 21）年に神戸大学が進める附属学校大規模再編計画に基づき、附属住吉・明石中学校を再編統合し、住吉地区に設立されました。同時に附属小学校は、附属住吉・明石小学校を再編統合し、明石地区に設立されました。

本校創設時より、両地区の同窓会の統合が大きな課題でした。神戸大学附属学校園同窓会の設立は、両地区の卒業生のみならずの多大な御理解と御支援の賜です。地区を越えた学校の再編統合はもちろんのこと、同窓会の再編統合は全国唯一の快挙です。両地区の卒業生のみならずと中等教育学校卒業生が協力することにより、より強固なネットワークが完成しましたこと、本当に心強い限りです。

本校は、これからも国際的視野を持ち未来を切り拓く、真理探究の精神に富んだグローバルキャリア人を育成する教育活動を進めてまいります。卒業生の活躍は後輩たちに勇気と未来を与えます。

卒業生のみならずの御健勝と御活躍を心よりお祈りいたします。



副会長 挨拶

佐藤 淑郎 (附中 23 回生)



神戸大学附属校同窓会が、旧明石校同窓会・旧住吉校同窓会が一つになる形で発足しました。

両校とも長い歴史をつみ重ねた学校ですが、同じルーツを持つ学校として念願の統一された新組織となりました。

現在の中高等教育学校卒業生を中心に新しい形の同窓会が今後発展していくことを楽しみにしています。

わたくしは旧住吉校同窓会会長を務めさせていただきましたが、新型コロナウイルス感染症の流行などもあり十分な活動ができなかったことが残念です。

同窓会は幅広い年齢の同窓生で構成されていますが先輩方の母校に対する強い思いを感じながらも若い世代の同窓会員にどのように同窓会活動を展開していけばいいのか常に大きな課題として抱えておりました。

様々な年齢の会員がおられる中、少し落ち着いてくるとそれぞれのクラスで自然発生的にクラス会が開催されていくというお話をよくお聞きました。同窓会活動の基盤は各クラスのクラス会活動だという考えは今も持っております、ちなみにわたくしの学年（附属中学昭和 47 年卒 23 回生）は小学校にのみ在籍した仲間も含めてもう 30 年以上毎年恩師にもお声かけしてクラス会を続けております。なかなか味わい深いものです。

今回、新しい組織の中で副会長というお仕事をいただきお手伝いできればと考えております。

新組織は発足したばかりで、いろいろな解決すべき課題もあると思います。

小黑新会長を中心に新鮮な視点で同窓会活動が進展していくことを楽しみにしております

副会長 挨拶

谷 吉将 (附中 27 回生)



新同窓会の設立おめでとうございます。設立にあたり支援していただきました皆様に感謝申し上げます。

新同窓会の副会長に就任いたしました附属中学 27 回生の谷吉将と申します。

私は現在、神戸大学附属明石中学校及び前身校を卒業した者で構成する同窓会組織であるユーカリ会の会長の職を拝命しております。

私達の時代には想像できなかった「住吉校」「明石校」という垣根を越えた「新同窓会」が誕生したことを大変うれしく思います。

2020 年頃より新同窓会発足をきっかけに住吉校と明石校の同窓会の統合を視野にいれ、ユーカリ会でも幾度となく議論を重ねた後、ユーカリ会は存続することを決断しました。ユーカリ会会員は、みなさんと同じく新同窓会の参加資格を有しています。これからのユーカリ会は、同じ神大附属ファミリーとして新同窓会と互いに手を取りあい交流、応援、支援を行いつつ、ゆるやかに新同窓会と合流し、その未来を新同窓会に託すことになると思います。

神戸大学附属中等教育学校の新同窓会及び住吉校同窓会との交流はコロナ禍もあり、様々な活動が停滞気味ではありましたが、今後は神戸大学附属の縁をつなぎ、力を合わせ、さらに発展するよう努力をいたしますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

常任幹事一覧

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| ■馬淵 仁 (附中 22 回生) | ■井筒 典久 (附中 39 回生) | ■後藤 丈仁 (附中 39 回生) |
| ■小林 中 (附中 39 回生) | ■金端 秀太 (中等 1 回生) | ■加藤 あかね (中等 2 回生) |
| ■久保田 心 (中等 3 回生) | ■小市 裕之 (附中 30 回生) | ■大濱 萌花 (中等 1 回生) |

2023 年度第 1 回学年代表幹事会 開催報告

2023 年 4 月 22 日（土）、神戸大学附属中等教育学校の Kobe プロジェクトルームにて、2023 年度第 1 回神戸大学附属学校園同窓会学年代表幹事会が開催されました。常任幹事と各学年代表幹事の計 34 名が出席（一部 Zoom 参加）し、新同窓会発足に関する報告が行われました。

～議事事項～

01 会長挨拶

小黒会長より、新同窓会発足に至った経緯と今後の活動方針について説明がありました。

02 会則承認

後藤常任幹事より、設立準備会で議論した会則についての説明があり、質疑応答の後全会一致にて会則が承認されました。

03 同窓会企画について

小黒会長より、初年度に実施予定の 4 つの企画について説明があり、全て実施する旨で全会一致しました。

(1) 同窓会ホームページ運営

多くの同窓生に同窓会活動を広く知ってもらうための手段として、ホームページを開設し運営する（現在準備中）。

(2) 同窓会広報誌発行

同窓会発足や活動報告を行うため、広報誌を発行する（本誌がその第 1 号です）。

(3) 卒業証書バインダー寄贈

これまで住吉校同窓会が行っていたバインダーの寄贈を新同窓会でも引き継ぎ、新たに同窓会員となる卒業生の門出に花を添える。

(4) ホームカミングデイ（HCD）

中等教育学校の文化祭（兎原祭）開催日に教室を一部借り、卒業生が思い出話に花を咲かせることができる場を提供する。

04 予算案審議

金端常任幹事より上記 4 企画を踏まえた予算案の説明があり、全会一致にて承認されました。

～予算案～

■ 収入の部

繰越金等	9,253,168
中等教育学校卒業生分	5,752,830
住吉校同窓会	1,750,169
ユーカリ会	1,750,169
会費	1,780,000
令和 4 年度卒業生	630,000
令和 5 年度卒業生	550,000
令和 6 年度卒業生	600,000
寄付金 同窓会企画等による	60,000
雑収入 預金利息等 2 年分	100
当事業年度 収入合計	11,093,268

■ 支出の部

広報費	560,000
ホームページ	500,000
広報誌	60,000
寄贈品	161,000
令和 5 年度卒業生	77,000
令和 6 年度卒業生	84,000
事業費	50,000
令和 5 年度 HCD	25,000
令和 6 年度 HCD	25,000
雑費	21,760
事務手数料	10,000
会議費	10,000
残高証明手数料	1,760
特別会計（周年行事準備等）	200,000
当事業年度 支出合計	992,760

次事業年度 繰越金

10,100,508

ホームカミングデイ開催

5 月 20 日（土）、中等教育学校の文化祭「兎原祭」の 2 日目にホームカミングデイを開催しました。運営メンバーにより装飾が施された教室に、学校から拝借した卒業アルバムや学校関係書籍を展示し、卒業生が在校時代にタイムスリップしたかのように感じられるスペースを提供しました。100 名近い卒業生が来場し、在校生とも交流できる場となったため、とても心温まる企画となりました。

兎原祭は一般来場者が 5,000 人程訪れる、中等教育学校を代表する学校行事です。文化部の発表や教室の展示などを通して学校や在校生の魅力を見ることができると思っていますので、来年も是非足をお運びください。



編集後記

4 月の学年代表幹事会から少し時間が経ってしまいましたが、多くの方のご協力により新同窓会の広報誌第 1 号の発行に至りました。ご協力いただいた方に感謝申し上げます。今後も常任幹事のメンバーで一丸となって同窓会を盛り上げていきますので、何卒よろしくお願い致します。また、10 月には住吉の東京同窓会が、11 月にはユーカリ会の東京支部会が開催されます。全国各地の卒業生の輪がこれから更に広がりますように、皆様ご自愛ください。